

今月は“知ってみよう”“やってみよう”“つなげてみよう”

誰もが関わる可能性のある身近な病気「認知症」後編

毎年9月21日

毎年9月

皆さんは“世界アルツハイマーデー”と“世界アルツハイマー月間”をご存知ですか？

1994年に、国際アルツハイマー病協会(ADI)と世界保健機関(WHO)が共同で制定しました。この日や月を中心に、世界中で認知症の啓蒙を行っています。



下野市の目標「みんなで支え合い安心して暮らせる健やかなまちづくり」を目指す様々な取り組み

認知症初期集中支援チーム

早期診断・早期対応>>>複数の専門職が、対象者や家族の初期支援を行います。必要に応じて医療や介護などに速やかにつながることができます。

■支援対象者の例

- 物忘れがひどいのに病院を受診せず、このままでは心配
- 徘徊して家族が疲弊しているのに、介護サービスを受けようとしない
- 保険証を何度も失くしているけど、“認知症”とは診断されていない。通院も中断している



オレンジカフェ

認知症の方やご家族、地域の方、専門職など、誰もが気軽に参加できる場です（詳しくはP27参照）。

■参加者の声

- いろいろな経験談が聞け、相談ができる
- 心が安らいで楽しいところ
- 話ができる

認知症サポーター

認知症を正しく理解し、偏見をもたず、認知症の方や家族を温かく見守る応援者です。

■サポーターの声

- 認知症に対する印象が変わった
- 「驚かせない、急がせない、自尊心を傷つけない」を心得として覚えておきたい
- 周囲の理解など、サポートも重要

認知症家族介護者交流会

認知症の方を介護するご家族などが交流し、情報交換をしたり認知症地域支援推進員に相談したりできます（P27参照）。

■参加者の声

- 参考になる対応方法を聞くことができる
- つらい気持ちを理解してもらえる

チームオレンジしもつけ

認知症サポーターフォローアップ講座を受講し、認知症になっても安心して生活できる地域づくりを目指すボランティアの集まり。

>>>1人ひとりが地域でできる取り組み

■活動例 オレンジカフェに参加する、オレンジカフェの運営の手伝い、など

認知症家族の会「しもつけ」

認知症介護をしていると、1人で悩みを抱え込みがちです。同じような悩みをもつ介護者同士、本音で話すことができます。心を少しでも軽くして日々を見直すきっかけにしてみませんか？

認知症に関する相談窓口「地域包括支援センター」通称：包括(ほうかつ)

今回の記事で紹介した取り組みに関するお問い合わせや、認知症についてお困りのことがあれば、お住まいの地域の地域包括支援センターにご相談ください（平日 午前8時30分～午後5時15分）。

地域包括支援センターいしばし（特別養護老人ホームいしばし内） ☎(51)0633

地域包括支援センターこくぶんじ（ゆうゆう館内） ☎(43)1229

地域包括支援センターみなみかわち（特別養護老人ホームにらがわの郷内） ☎(48)1177